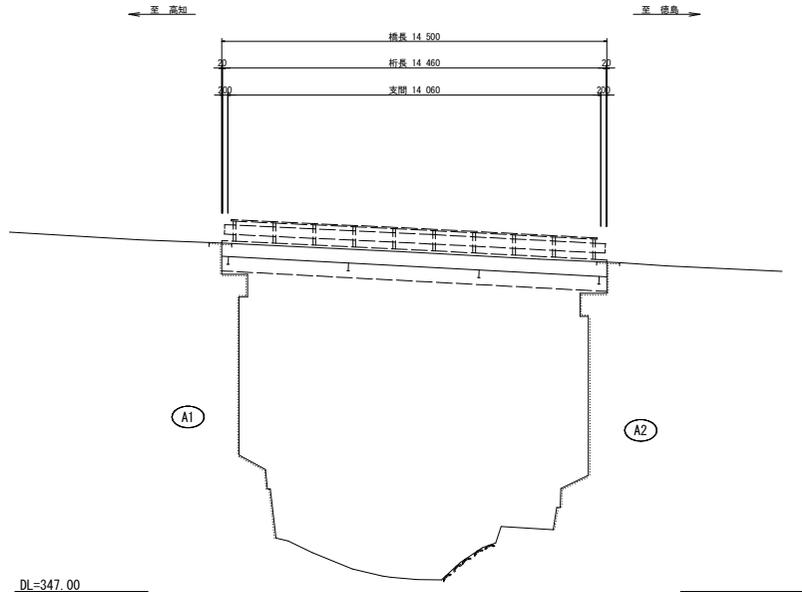
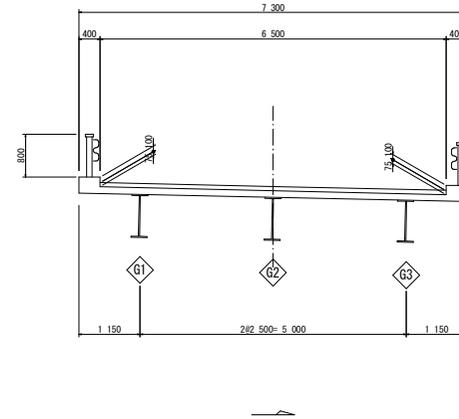


# 橋梁一般図

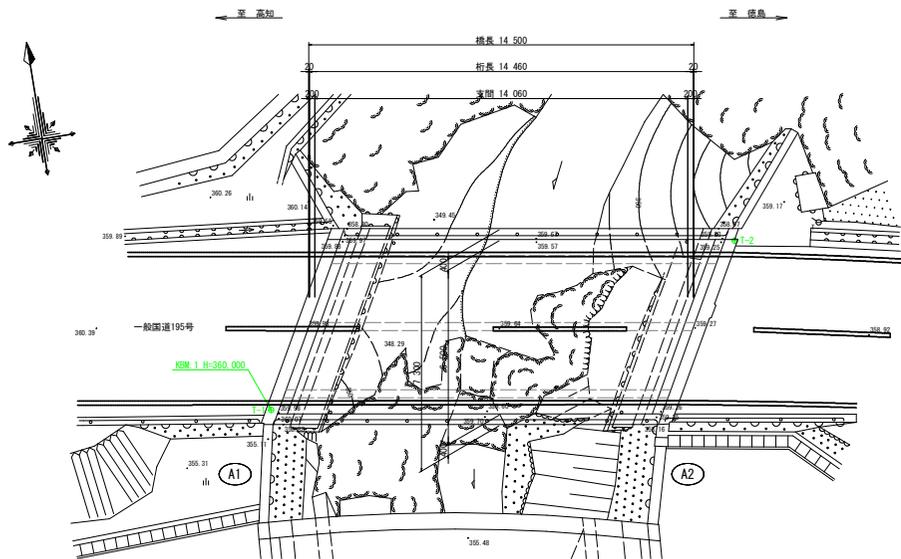
## 側面図 S=1:100



## 断面図 S=1:50



## 平面図 S=1:100



### 橋梁概要

路線名	一般国道195号
橋格	一等橋 (TL-20)
橋長	14,500m
幅員	7,300m (全幅員)
斜角	左70° (直線橋)
上部工	A1-A2径間 鋼単純合成桁橋
施工年次	1968年(昭和43年供用開始)
橋台	逆T式橋台 (直接基礎)
下部工	施工年次 1968年(昭和43年供用開始)
交差物	拍子ヶ谷
添加物	防護柵(笠木付きガードレール)
適用示方書	昭和31年 鋼道橋設計示方書

### 実施設計図面 【拍子ヶ谷橋】

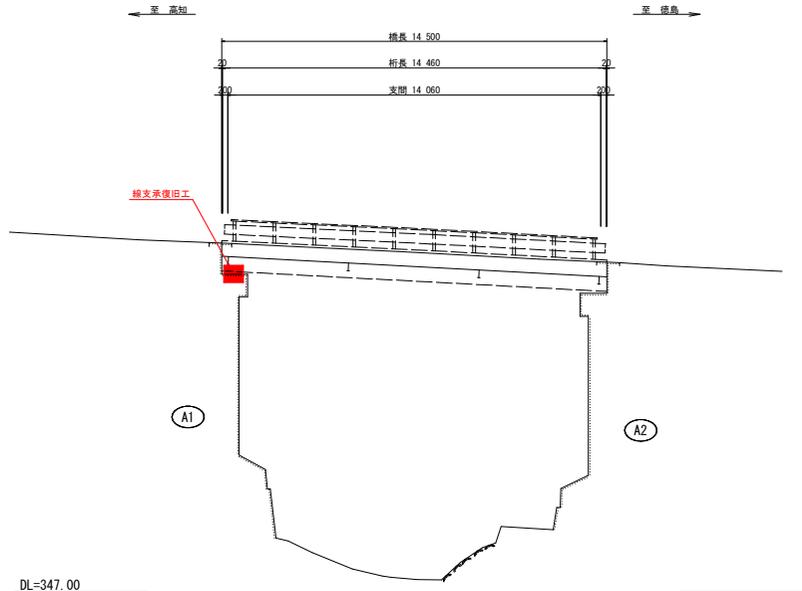
工事名	R7那土 国道195号他 (拍子ヶ谷橋他 那賀・木頭西字他 橋梁修繕工事)		
路線名等	一般国道195号他		
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西字他		
図面名	橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	1 / 9
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部【那賀】		

※) 橋長、幅員等は実測値を表示する。

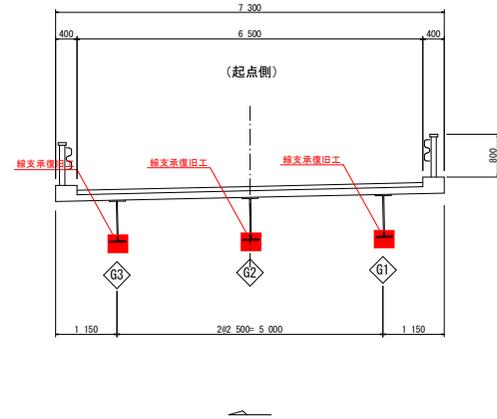
※) 図中の水準高さは任意とする。

# 橋梁補修工全体計画図

側面図 S=1:100



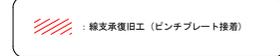
断面図 S=1:50



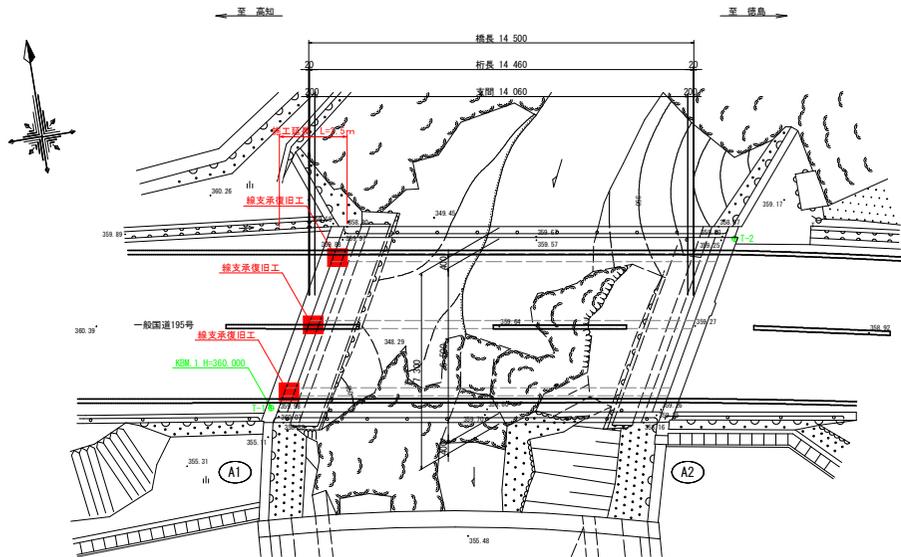
全体数量総括表

補修対策工	数量(内訳)
橋支承復旧工(ピンチプレート接着)	ピンチプレート: N=3基

凡例



平面図 S=1:100



実施設計図面  
【拍子ヶ谷橋】

工事名	R7那土 国道195号地(拍子ヶ谷橋地 那賀・木頭西字地) 橋梁補修工事		
路線名等	一般国道195号地		
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西字地		
図面名	橋梁補修工全体計画図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 9
会社名			
事業者名	徳島県南部総合振興局 県土整備部【那賀】		

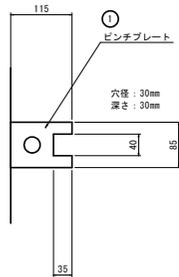
※) 橋長、幅員等は実測値を表示する。

※) 図中の水準高さは任意とする。

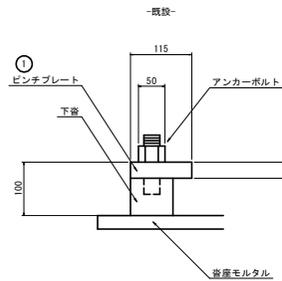
# 線支承復旧計画図

線支承部材図 (A1側) S=1:5

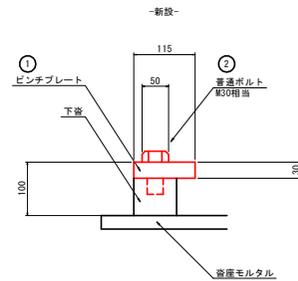
(平面:上)



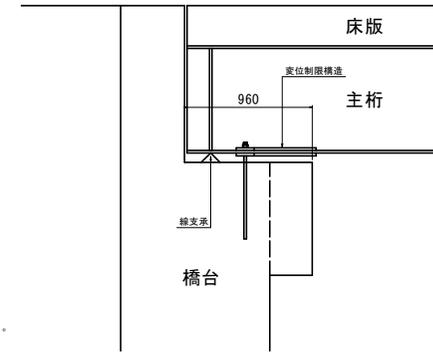
(側面)



(側面)



側面図 S=1:20



《部材数量》

- ① ピンチプレート・・・3枚 (工場製作)  
SS400 PL: 85mm×115mm×30mm
- ② 普通ボルト・・・3本 (M30相当)  
六角ボルト・中 (JIS B 1180)  
首下長さ: L=55mm

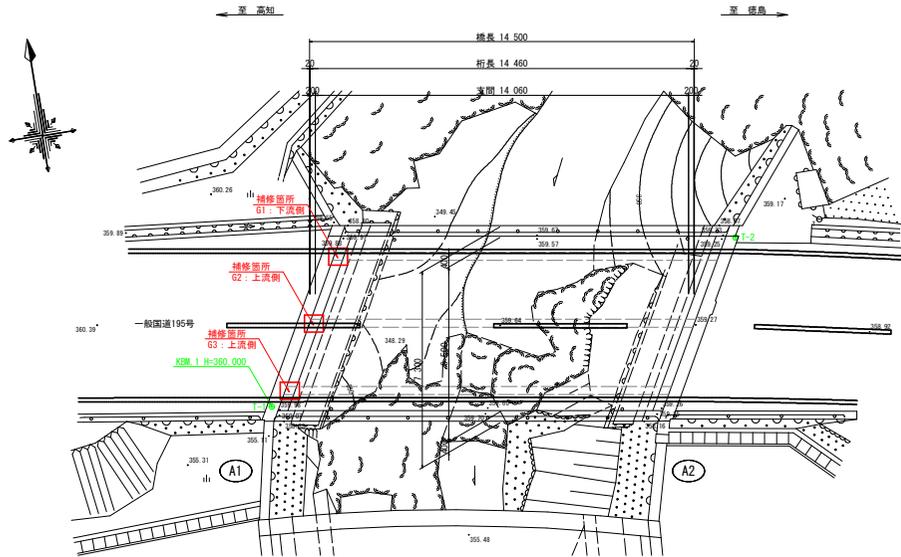
《塗装面積》

ボルト塗装面積  $m^2/1000$ セット (参考値) → 9.42m<sup>2</sup>  
1セット: 9.42m<sup>2</sup>/1000 = 0.009m<sup>2</sup> (ボルト頭1個、ナット (1種) 1個、平座金2枚)  
ピンチプレート塗装面積 (CAD計測値) → 0.028m<sup>2</sup>  
計: (0.009m<sup>2</sup>+0.028m<sup>2</sup>) ×3基 = 0.111m<sup>2</sup>

《注記》

- ※ ピンチプレートと普通ボルトは、セット (一体化) とする。
- ※ ピンチプレートの角度 (水平方向の傾き) は、主桁の支点補剛材の位置に合わせる。
- ※ ピンチプレート及び普通ボルトは、下巻との接着面以外 塗装すること。
- ※ 左図は参考例であり、実施にあたっては現地で詳細計測の上、最終的な構造形式を適用すること。

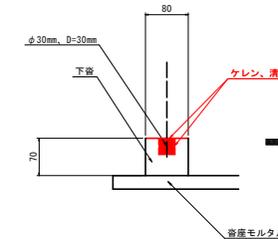
位置図 S=1:100



## 線支承復旧施工要領図

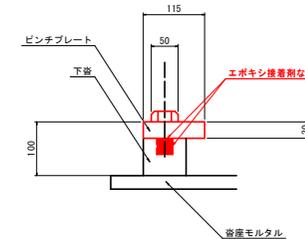
(ピンチプレート接着)

《Step. 1》



- (作業内容)
1. 下巻の上表面及び孔内のケレン
  2. 清掃

《Step. 2》



- (作業内容)
1. ピンチプレートを下巻と接着
  2. 塗装

《接着面積》 構造物用耐熱型エポキシ樹脂系接着剤 (ボンデE268R相当)

- ・ピンチプレート接着面:  $A=85mm \times 80mm = 6,800mm^2$
- ・普通ボルト接着面:  $A=2 \times \pi \times 15mm \times 30mm = 2,826mm^2$

【線支承復旧工】

《施工フロー図》

ケレン・清掃	・下巻上表面及び孔内
部材設置	・接着剤使用
部材塗装	・ローバースプレー等

※本橋の塗装は、有害塗膜:鉛を含んでいるため全体の塗装更新を予定している。  
更新時は、「重防食塗装系」での塗り替えが必要。

実施設計図面  
【拍子ヶ谷橋】

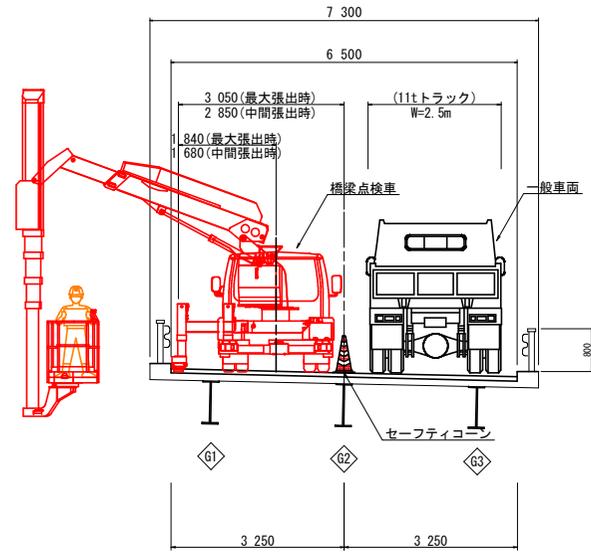
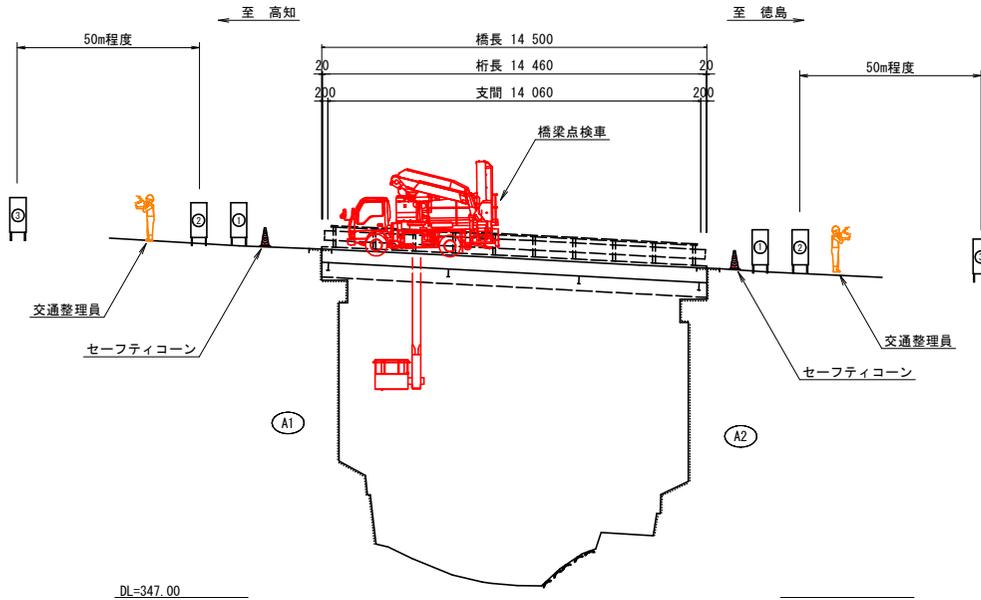
工事名	R7那土 国道195号他 (拍子ヶ谷橋他) 那賀・木頭西字他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西字他		
図面名	線支承復旧計画図		
縮尺	図示	図面番号	3 / 9
会社名			
事業者名	徳島県那賀総合県民局 県土整備部【那賀】		

# 仮設工計画図(参考図)

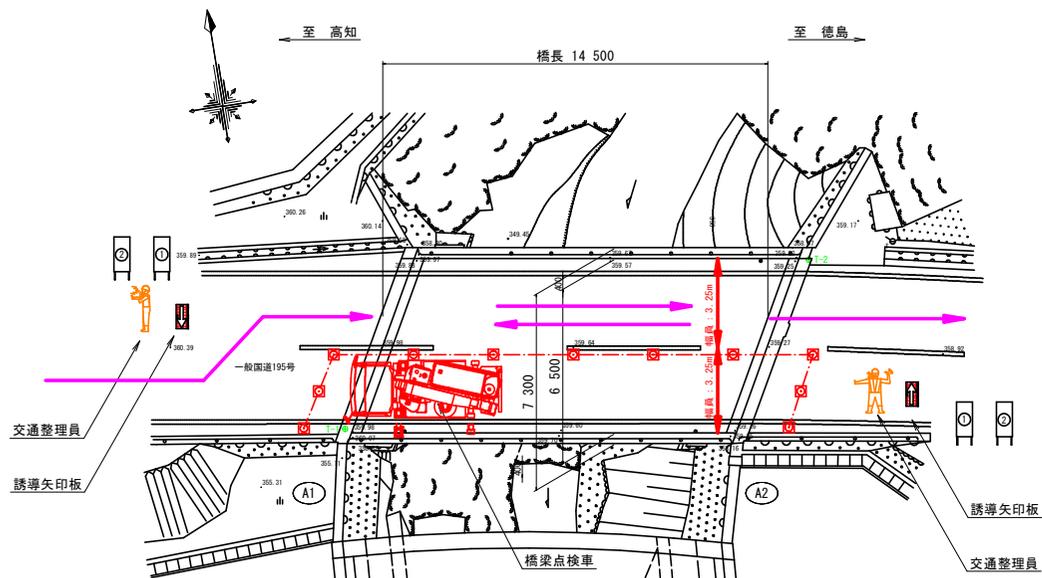
側面図 S=1:100

- 橋梁点検車 -

断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



## 工程表

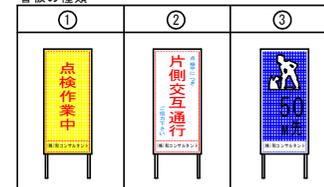
工種	数量	必要日数	1月	2月	3月
			10 20	10 20	10 20
準備工	-	10日			
線支承復旧工	3基	5日			
後片付け工	-	5日			
合計日数		20日			

※) 橋梁点検車を使用しての実際の作業日数(線支承復旧工)は、1日を想定している。

## 【通行規制要領】

- 橋面を占有する作業(準備→下面施工→撤収)中は交通整理員を配置し、通行する一般車を適切に誘導して安全を確保する。
- 作業中に救急・消防・警察などの緊急車両が来た場合は、安全を確保しつつ、通行を優先する。
- 通行する一般車は、当該路線の制限速度遵守に加え、作業状況に対応した適切な速度での走行を推奨する。
- トラック等の大型車は、特に橋梁点検車横を通過する際は徐行を基本とする。
- 歩行者および自転車は、交通整理員が安全を確認しながら、停車させた橋梁点検車の横を誘導し、通過させる。

## 看板の種類

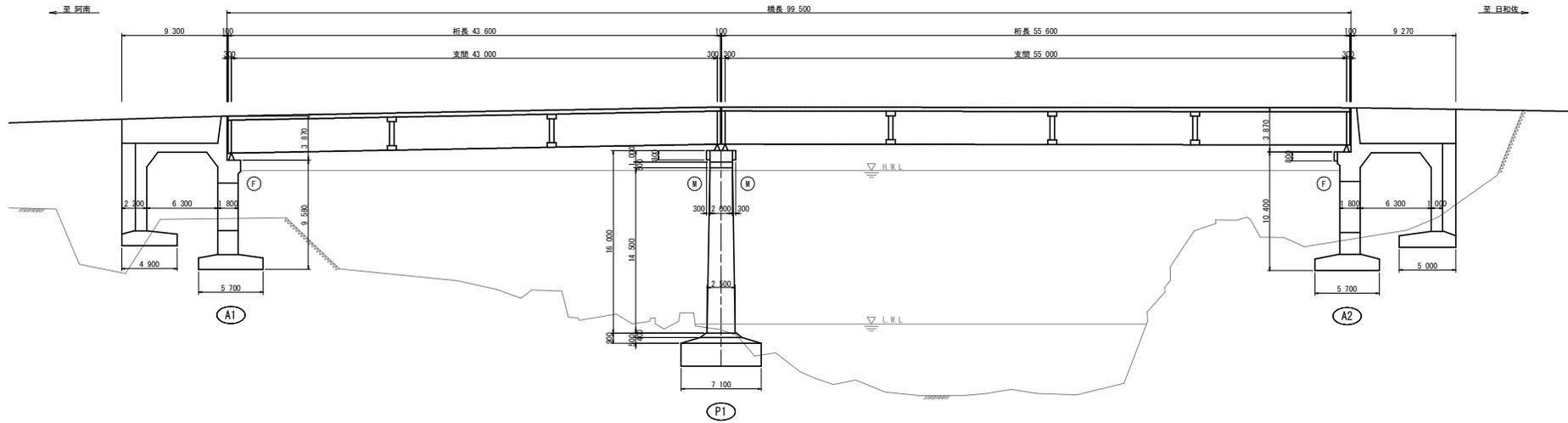


## 実施設計図面【拍子ヶ谷橋】

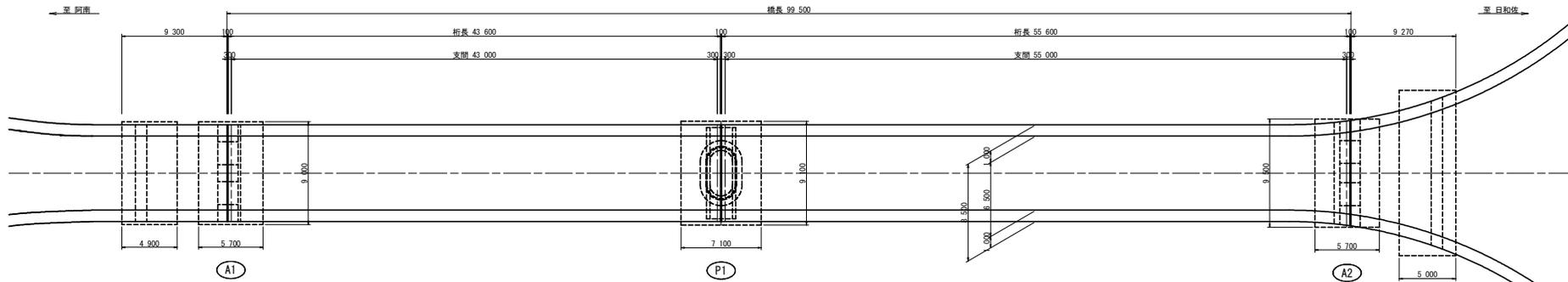
工事名	R7那土 国道195号他(拍子ヶ谷橋他) 那賀・木頭西字他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西字他		
図面名	仮設工計画図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	4 / 9
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部【那賀】		

# 橋梁一般図

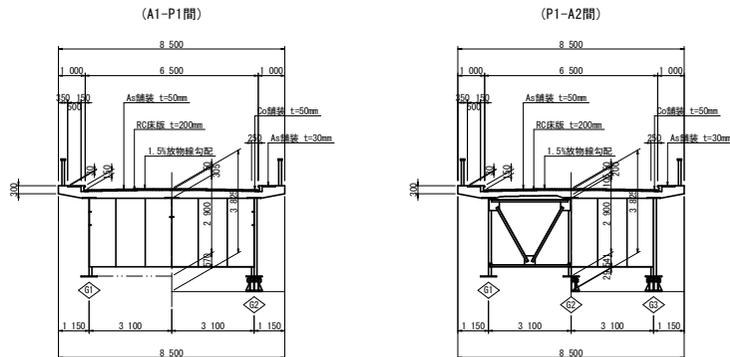
側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



断面図 S=1:100



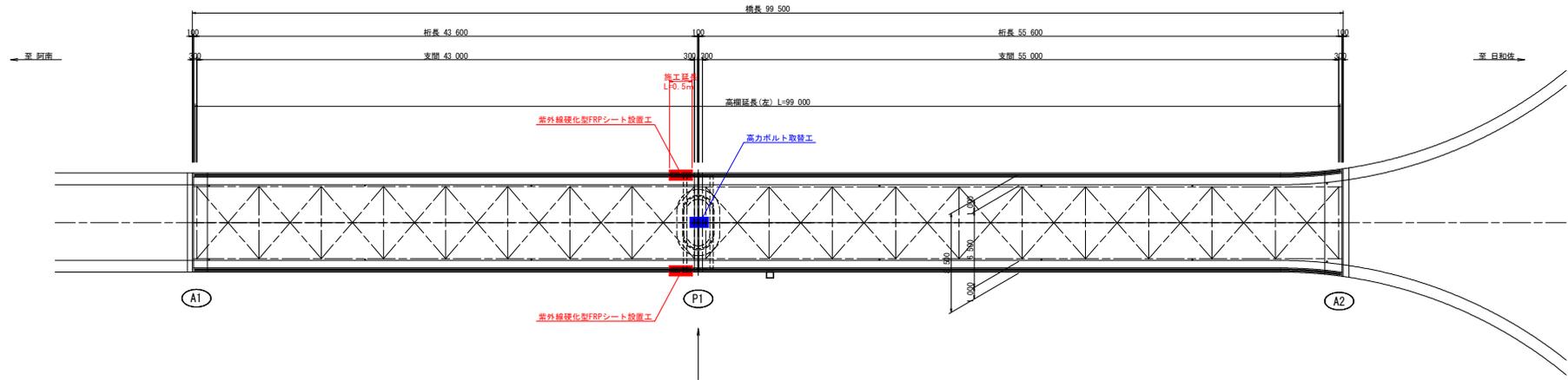
川口橋概要	
道路区分	-
設計荷重	一等橋 (TL-20)
橋長	99.500m
桁長	43.750m + 55.750m
支間長	43.000m + 55.000m
幅員	0.650m + 6.500m + 0.650m
斜角	$\theta=90^\circ$ (道路中心線に対して)
上部工	形式 鋼単純活荷重合成桁橋(2連) 規格 -
下部工	A1橋台 ラーメン式橋台 P1橋脚 小科柱T型橋脚 A2橋台 ラーメン式橋台

## 実施設計図面 【川口橋】

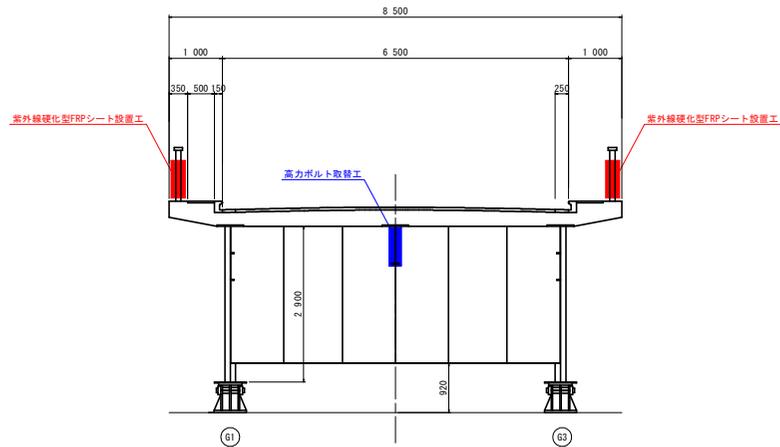
工事名	R7那土 国道195号他(拍子ヶ谷橋他) 那賀・木頭西字他 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西字他		
図面名	橋梁一般図	図面番号	5 / 9
会社名	徳島県南総合県民局 県土整備部【那賀】		
事業者名	徳島県南総合県民局 県土整備部【那賀】		

# 橋梁補修工全体計画図

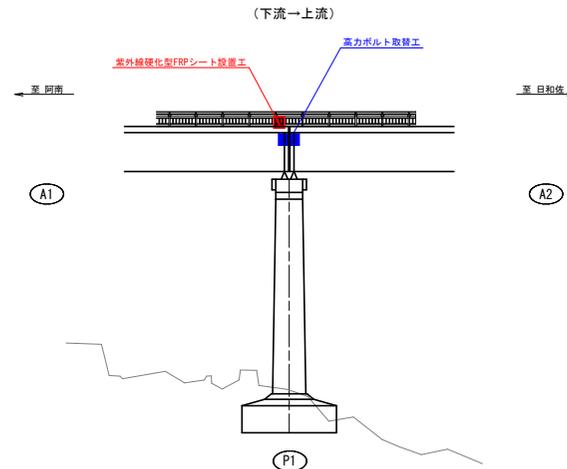
平面図 S=1:200



断面図 S=1:50



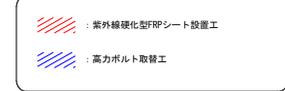
側面図 S=1:200



全体数量総括表

補修対策工	数量(内訳)
紫外線硬化型FRPシート設置工	シート: A=0.3m <sup>2</sup> シール材: 12.6m <sup>3</sup>
高力ボルト取替工	ボルト: N=14本

凡例



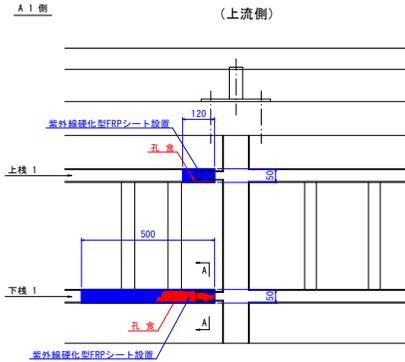
実施設計図面  
【川口橋】

工事名	R7那土 国道195号地(拍子ヶ谷橋地) 那賀・木頭西子地 橋梁補修工事		
路線名等	一般国道195号地		
工事箇所	那賀郡那賀町木頭西子地		
図面名	橋梁補修工全体計画図		
縮尺	図示	図面番号	6 / 9
会社名			
事業者名	徳島県南部総合県民局 県土整備部【那賀】		

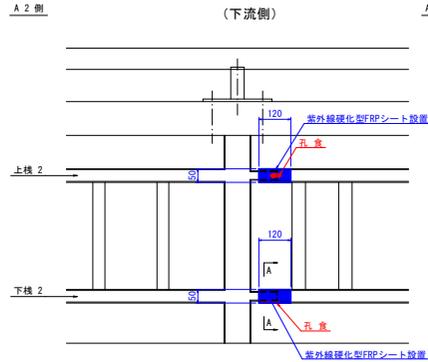
# 高欄補修計画図

- 紫外線硬化FRPシート設置工・塗装工・シール工 -

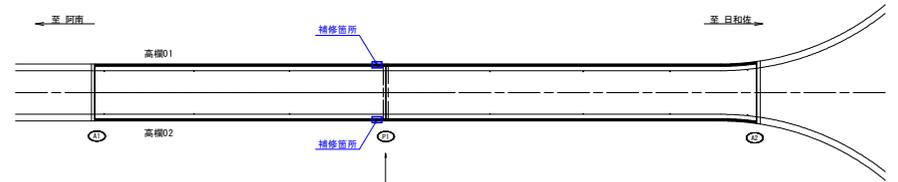
詳細図 S=1/10



詳細図 S=1/10

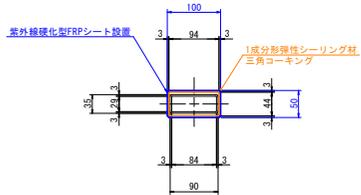


位置図

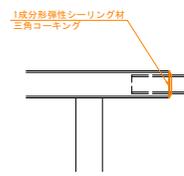


※) 左図は参考例であり、実施にあたっては現地で詳細計測の上、最終的な構造形式を適用すること。

A - A 断面 S=1/5



拡大図 S=1/5



1成分弾塑性シーリング材数量表

1ヶ所・・・V = 0.003m \* 0.003m / 2 \* 0.30m \* 1000  
= 0.00135L  
4ヶ所・・・V = 0.00135L \* 4  
= 0.00540L (5.4mL)

塗料 シリコン系シーラント：330mL/本

紫外線硬化型FRPシート貼付数量表

貼付箇所	算式	貼付面積	単位
上線1	$A = (0.30m + 0.04m) * 0.12m$	0.041	m <sup>2</sup>
下線1	$A = (0.30m + 0.04m) * 0.50m$	0.170	m <sup>2</sup>
上線2	$A = (0.30m + 0.04m) * 0.12m$	0.041	m <sup>2</sup>
下線2	$A = (0.30m + 0.04m) * 0.12m$	0.041	m <sup>2</sup>
合計		0.293	m <sup>2</sup>

注記)

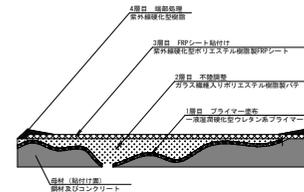
- 1) 本図は参考であり、実施時には現地計測等、詳細確認し適するものに適宜調整を行うこと。
- 2) 下地処理は、2種ケレン及び不陸調整を行うこと。
- 3) 重ね貼りする場合は、ラップ幅：40mm以上を確保すること。
- 4) 景観確保及び防食機能向上のための、補修箇所は塗装すること。

注記)

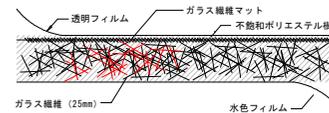
- 1) 有害塗膜：鉛を含むため、塗膜除去の際は「塗膜剥離剤(水系)」等を使用すること。
- 2) 塗膜くずは、養生シートを敷置するなど飛散防止に努めること。
- 3) 下線1は、欠損部が多いため、等辺山形鋼(JIS G 3192) 50mm\*50mm\*4mm(L=500mm)等で当て板をし、鋼構造物用耐熱型エポキシ樹脂系接着剤(ポンドE258R等)で接着させること。

## 紫外線硬化型ポリエステル製FRPシート

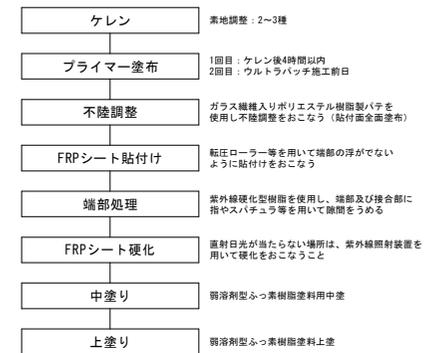
断面図



断面図



施工フロー図



塗装数量表

塗装箇所	算式	塗装面積	単位
上線1	$A = (0.10m + 0.05m) * 2 * 0.12m$	0.036	m <sup>2</sup>
下線1	$A = (0.10m + 0.05m) * 2 * 0.50m$	0.150	m <sup>2</sup>
上線2	$A = (0.10m + 0.05m) * 2 * 0.12m$	0.036	m <sup>2</sup>
下線2	$A = (0.10m + 0.05m) * 2 * 0.12m$	0.036	m <sup>2</sup>
合計		0.258	m <sup>2</sup>

(参考)

塗装記録表	
塗装年月	2004年 1月
施工者	国井塗装社
塗料材質	下塗 JIS-K-5623 1種 赤さび色
	中塗 JIS-K-5516 2種 S-44-553 炭
	上塗 JIS-K-5516 2種 S-44-553
塗料会社名	大日本塗料 株式会社
塗装面積	橋体 1,739m <sup>2</sup> 高欄 186m <sup>2</sup>

紫外線硬化型ポリエステル樹脂製FRPシート仕様 要求項目

NETIS NO. IBCB-990022-V同等品以上のポリエステル樹脂製(土木コスト情報：標準準備適用のため)
難燃性UL94規格：V-0以上(道路構造物の解脱と運用 防災空間としての道路構造物)
酸素透過率：10 <sup>-11</sup> ≦6.5cc/(m <sup>2</sup> 24h・atm)以下(鋼道橋防食便覧)

## 実施設計図面

【川口橋】

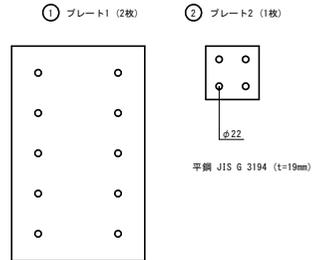
工事名	R7那土 国道195号他(拾子ヶ谷橋他) 彫装・木造西字他 橋梁修繕工事
路線名等	一般国道195号他
工事箇所	那賀郡那賀町木造西字他
図面名	高欄補修計画図
縮尺	図示 図面番号 7 / 9
会社名	
事業者名	徳島県南郡総合振興局 県土整備部【部質】

# 連結板ボルト復旧計画図

- 高力ボルト取替工 -

## 部材図 S=1/10

(連結板02)



第2種(10T)ボルト数量

- ① M20HTB-110 . . . 10本 (set B1 W2 N1)
- ② M20HTB-90 . . . 4本 (set B1 W2 N1)

第2種(10T)ボルト重量

- ① M20HTB-110 . . . 1set (0.509kg) × 10 =5.090kg
- ② M20HTB-90 . . . 1set (0.459kg) × 4 =1.836kg

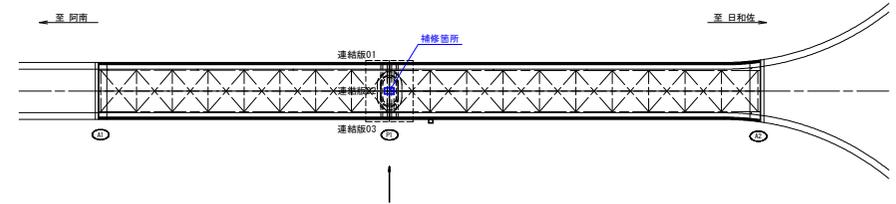
凸部塗装面積 m2/1000本 (参考値)

算例 3.27m2 + ナット側 4.54m2 = 合計 7.81m2

塗装面積の増加 m2/1000本 (接触部面積を差し引いた増加面積)

算例 2.01m2 + ナット側 3.28m2 = 合計 5.29m2

## 位置図



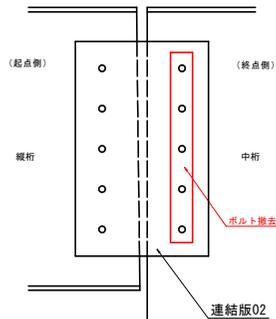
※) 左図は参考例であり、実施にあたっては現地で詳細計測の上、最終的な構造形式を適用すること。

## 高力ボルト取替工施工要領図

### 《Step.1》

詳細図 S=1/10

① プレート1 (2枚)



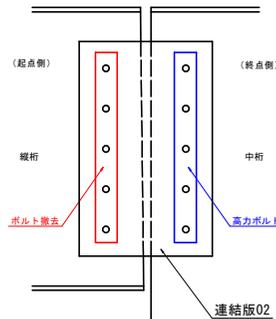
(作業内容)

1. 終点側残存ボルトの撤去
2. 母材孔位置のずれ確認、削孔調整
3. ワッシャー跡ケレン

### 《Step.2》

詳細図 S=1/10

① プレート1 (2枚)



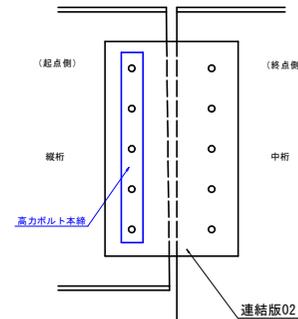
(作業内容)

1. 終点側高力ボルトの本締め
2. 高力ボルト塗装
3. 起点側残存ボルトの撤去
4. ワッシャー跡ケレン

### 《Step.3》

詳細図 S=1/10

① プレート1 (2枚)

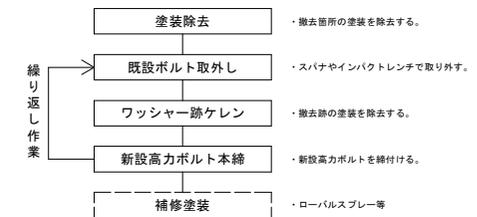


(作業内容)

1. 起点側高力ボルトの本締め
2. 高力ボルト塗装

## 【高力ボルト取替工】

《 施工フロー図 》



※本橋の塗装は、有害塗膜：鉛 を含んでいるため全体の塗装更新を予定している。更新時は、「重防食塗装系」での塗り替えが必要。

《注記》

- ※) 既設プレートの使用が困難な場合は、同サイズのプレートを新設すること。
- ※) 新設する場合は、1. 芯出し調整 2. 孔明け 3. プレート跡のケレン 4. 塗装 が必要となる。

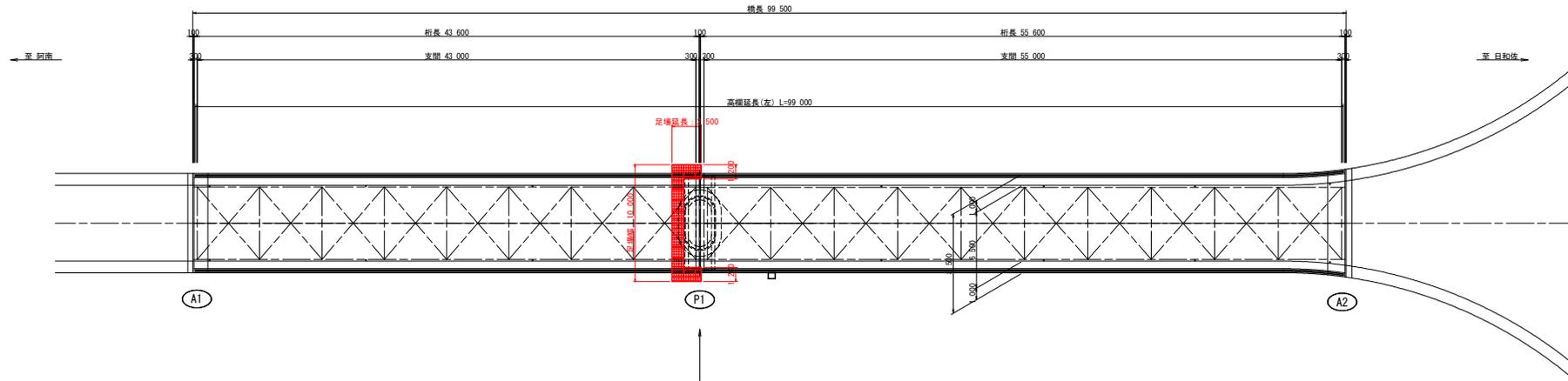
## 実施設計図面 【川口橋】

工事名	R7那土 国道195号他(拍子ヶ谷橋他) 那賀・木原西子地 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号他		
工事箇所	那賀郡那賀町木原西子地		
図面名	連結板ボルト復旧計画図		
縮尺	図示	図面番号	8 / 9
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局 県土整備部【那賀】		

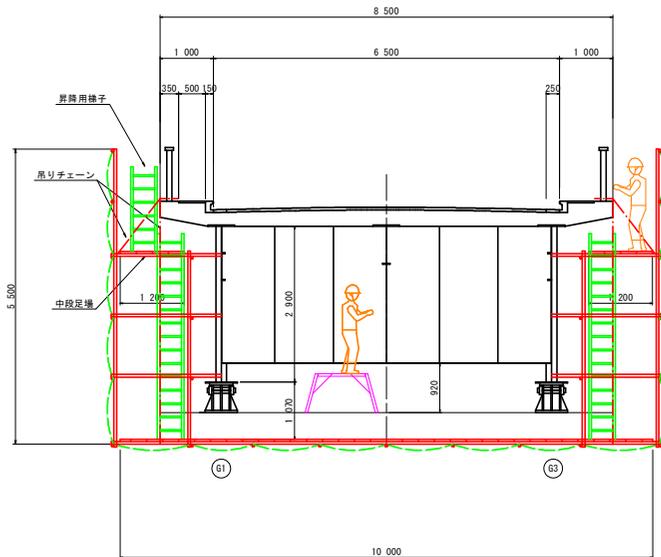
# 仮設工計画図(参考図)

- 足場工 -

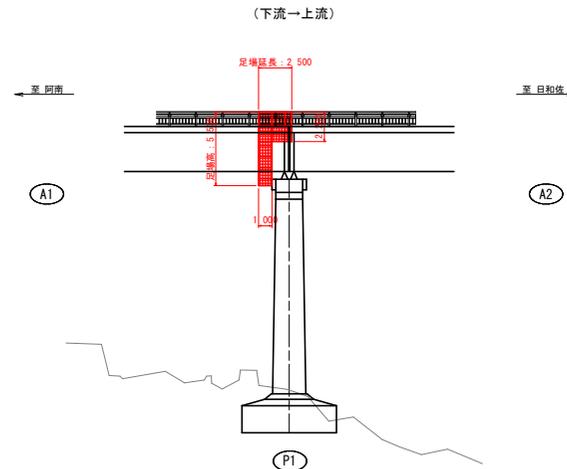
平面図 S=1:200



断面図 S=1:50



側面図 S=1:200



足場工数量表

	算式	面積(m <sup>2</sup> )	備考
単管吊り足場	10.00*1.00	10.00	
合計		10.00	

足場工数量表

	算式	面積(m <sup>2</sup> )	備考
中段足場	1.20*2.50*2	6.00	
合計		6.00	

シート張防護数量表

	算式	面積(m <sup>2</sup> )	備考
養生シート	1.20*2.50*2	6.00	
合計		6.00	

工程表

工種	数量	必要日数	1月			2月			3月		
			10	20		10	20		10	20	
準備工	-	10日									
足場工	16.00m <sup>2</sup>	5日									
紫外線硬化型FRPシート設置工	0.30m <sup>2</sup>	5日									
高力ボルト取替工	14本	5日									
後片付け工	-	5日									
合計日数		30日									

実施設計図面  
【川口橋】

工事名	R7那土 国道195号地(拍子ヶ谷橋他) 那賀・木原西子地 橋梁修繕工事		
路線名等	一般国道195号地		
工事箇所	那賀郡那賀町木原西半地		
図面名	仮設工計画図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	9 / 9
会社名			
事業者名	徳島県那賀総合振興局 県土整備部【那賀】		

※ 本図は参考であり、実施にあたっては事前に現地状況を確認の上、適宜、計画を修正すること。